

## 崇文舎校名木額

- 所在地 仁木小学校 海松新田 827
- 時代 明治6年頃 彫刻

<sup>そうぶん</sup>崇文舎（崇文義校）は、明治6年5月5日、福東新田・中郷新田・藻池新田、塩喰の4カ村の連合で、福東新田の乗願寺を仮校舎として、創設された。翌々年の明治8年には福東新田に新校舎を建築し、崇文学校と改称した。



新校舎は、木造2階建て、切妻造棧瓦葺、教室は4教室である。校舎前に道路から階段をつけ、周囲を板塀崇文舎（崇文学校）木額や木の柵で囲っている。

「崇文舎」木額は野村藤陰の筆、野村藤陰の本名は野村煥、藤陰は号である。大垣藩校の教員を務めた後、興文義校、岐阜第一中学校、華陽学校の教員を務めた。

校名の崇文とは、「文字を大切にすて丈夫なよい子になるように」という願いが込められている。

明治24年10月28日、濃尾大地震が起き、校舎がたおれてしまったので、翌25年には、民家を借り授業を再開した。明治26年10月に前より大きくて丈夫な校舎を建てた。その後明治36年5月12日に仁木尋常小学校ができるまで続いた。



崇文学校 「ふるさと学校写真帳」岐阜県教育委員会より